

【研究概要】

アリピプラゾール水和物持続性注射剤（AOM）に代表される抗精神病薬の持効性注射製剤（LAI）は統合失調症維持期における重要な治療オプションである。しかし、LAI を継続使用が行われている場合でも、陽性症状の残存や症状再燃が見られることがある。しかし、このような場合にどのような補充療法が行われるべきかについて、エビデンスは乏しい。本研究ではブレクスピプラゾールを追加使用することが、AOM で治療中の統合失調症患者の有効性や忍容性にどのように寄与するかを無作為比較試験で検証する。